

## 47 都道府県の魅力新発見フォトコンテスト 2017

2017 年 7 月 23 日～25 日

23 日に八戸から細君の姉が「お中元」届けに来宮する予定だった。前日、八戸は停滞した梅雨前線の影響で強雨、岩手県は内陸部がひどくなりそうだ。

宮古から出向くことを提案し、その結果、久慈で落ち合うことに決まった。

小降りのなか 8 時に出発する、途中「野田」では太陽が顔を出してくれる。久慈のユニバースで 10 時に会った、雨は小降りとなる。

用事が済んだあと、昨日から夏祭りが開催されている「もぐらんぴあ」に向かう。露店販売を細君が楽しみにしていた。

イベントテントは並んでいるが商品が見えない、人影もまばらだ、駐車場の車も少ない。聞くと洪水警報発令のためイベントは中止になったという。

せめて館内撮影だけでもと考えたが、洪水警報が発令している場所に長居するわけにいかないだろう、ここで八戸の皆さんとはお別れし、我々も帰ることにした。

途中「田老」で冷やし中華を食べ午後 2 時に帰宅する。細君は「ドンコのから揚げ井」にすれば良かったと悔しがると、いつものことだ！

「フォトエッセイ」はホンドリスが杉の木からキウイ棚に渡る瞬間を載せたい。しかし 24 日は現れなかった、残念！

他には最高の被写体「帆船・海王丸」が藤原埠頭に 21 日から停泊している。前回は夢中になったのに今回は食指が動かない、なぜだろう？

記事がないので、22 日の岩手日報に県芸術祭美術展の公募が載っていた。その関連でお話する。県展の写真搬入は 9 月 9 日県公会堂 26 号室、2 期の開催は 10 月 12 日～15 日とのこと。

2014 年、盛岡で写真展開催の折、県写真連盟の方が見に来てくれた。その時、県展応募を約束した経緯がある。

市民展、県展に応募するキッカケになった写真仲間は亡くなった。私はコンテスト向けの写真は本来得意でないで、それ以来ご無沙汰している。

昨年久しぶりで市民展に応募した、県展も今回限りにしようと考えている。応募サイズは B1 サイズに全倍の写真、マット付きで応募する予定だ。はたして作品があるだろうか、それが問題だ！

キャノンから「47 都道府県の魅力新発見フォトコンテスト 2017」の案内メールを受け取った。応募締め切りは 9 月 1 日、ネット応募である。

応募状況を見ると北海道・岩手県エリアは 7 月 12 日更新で 246 人。殆ど北海道勢で岩手県は少ない。

見つけたのは、亀ヶ森の山桜と天の川(11P)、中尊寺(27P)、宮沢賢治の世界(28P)、北山崎(37P)、高松の池(41P)、龍泉洞・花巻の薄明(42P)、芝桜のジュウタンと岩手山・小岩井農場の桜(48P)、岩手山と新幹線(50P)、銀河鉄道眼鏡橋・旧岩手銀行(52P)等々。

全国区の力量は私には無いが、ネットで宮古市の観光宣伝になるのは有り難い、早速応募を済ませよう。

作品は 53 ページ掲載されている、私の作品は 54P 以降に並ぶだろう。みなさんの応援を宜しく願います！

※ エリア別と応募作品は下記のアドレスから。

[https://pct.canon.jp/cig/47pref2017/informations/top?xmid=CiG\\_170719\\_1&xlinkid=link01\\_0](https://pct.canon.jp/cig/47pref2017/informations/top?xmid=CiG_170719_1&xlinkid=link01_0)